


3.11 1.17 忘れない伝える備える

兵庫県 Kみちのく

東日本大震災の起きた2011年の5月に私は宮城県気仙沼市へ災害派遣になった。以来、足しげく通わせていただき、被災地の皆さんとは今も交流を続けている。3年前、その中のお一人のかたから「神戸マラソンの伴走をお願いできませんか？」と相談を受けた。「私によければ、よろこんで」と引き受けた。大会には気仙沼市内の商店会役員の方も加わり、3人でエントリーした。本番まで毎日、お互いの練習や近況を報告した。大会当日は気仙沼市をずっと支援されている神戸の岡本商店街の方々、たくさんの東北サポーター仲間が沿道応援にかけつけてくれた。私は気仙沼市から初参加されるランナーの伴走をすることは兵庫県民の代走でもあるのだと気を引きしめた。沿道応援を背に受けながら3人とも無事に完走することができた。震災時、瓦礫まみれだったまちのかたと神戸マラソンを一緒に走れるなんて想像もしなかったので感慨深い気持ちと同時に震災からの時間の経過も感じた。災害多発期に入った現在、また同じような災害が起きるかもしれない。他人事は自分事、「3.11 1.17 忘れない」を実践するために今年も走って2つの被災地をつなぎたい。



ランナーエピソード 3年ぶりの神戸マラソンの思い出



KOBE MARATHON
2022.11.20 SUN